



平成24年から久米ロジックや阿波地域で保養事業を8回行い、延べ300人を受け入れてきました。これまで活動を続けてきたのは、市や大学生、高校生、ボランティアなど多

参加者 わたしたちは、東日本大震災の福島第一原発の事故による放射能被害に不安を抱える人に、少しでも放射能の不安が少ない所で保養させてあげたいという思いから「さよなら原発ママパパ美作ネットワーク」を立ち上げました。

第29回
 とき 4月24日(月)
 テーマ 「ふくしまっ子津山でのびのび元気回復 親子保養プロジェクト」について
参加者
 さよなら原発ママパパ美作ネットワーク
 田口雄司さん、和泉富美子さん
 西田好孝さん、黒瀬正義さん
 為貞祐二さん

市民と市長のふれあいトークを開催しました

図秘書広報室 ☎32-2029

市長 津山市も島根原子力発電所が100km圏内にあるので、災害時の放射能被害については他人事ではないと感じています。被災地の人たちに、津山の素晴らしい自然の中で保養していただくという皆さんの活動は、とても素晴らしいですね。

参加者 保養事業に参加した人から感謝の手紙をいただくこともあり、「津山の空気、水、野菜はとてもおいしく人は親切です」と喜ばれています。また、放射能被害の不安から、今まで外で遊んだことが全く無かったら歳の子どもから「空ってこんなに広いの？この土は触っていいの？」といった言葉や、「子どもが一日中外遊びをしている姿を見るのが幸せ」という保護者からの声を聞くと、わたしたちにとって当たり前の「日常」が、福島では奪われているのだと痛感します。

東日本大震災から5年が経ちましたが、この保養事業を望む人がいる限り、続けていきたいと考えています。わたしたちの活動を多くの人に知ってもらいたいのです。

市長 市としても、広報など、できる限りのことで協力していきたいと思えます。

寄付金 平成28年度ふるさと津山サポート寄付金(ふるさと納税) 図経済政策課 ☎32-2081

市では、魅力あるまちづくりを進めるため、全国の皆さんから、ふるさと津山サポート寄付金(ふるさと納税)としてご支援をいただいています。平成28年度は12,417件、約1億9,000万円のご寄付をいただきました。皆さん、ありがとうございました。ふるさと納税をしていただいた人へのお礼の品など、詳しくは市ホームページをご覧ください。



写真①

寄付金の内訳

活用事業	平成28年度寄付金額	平成28年度の活用事例(平成27年度の寄付金を活用)
1. ふるさととの父、母サポート事業	6,507,500円	市内循環バス(ごんごバス)運営への補助など
2. ふるさととのこどもサポート事業	31,902,000円	小学校への非常勤講師の配置など
3. 桜あふれる津山城整備事業	9,484,500円	津山城裏鉄門周辺の整備など
4. 誇りある津山洋学発信事業	1,082,500円	津山洋学資料館企画展の開催など
5. ふるさと津山のお宝サポート事業	1,317,000円	指定文化財の周辺整備など
6. 水と緑あふれる環境まちづくり事業	12,344,500円	地域材住宅新築、リフォームの活用助成など
7. その他(使途を指定しない寄付)	127,055,100円	小中学校のパソコン教室の整備など(写真①)
合計	189,693,100円	

原付プレート 津山市オリジナルご当地プレート交付 図税制課(市役所2階2番窓口) ☎32-2017

市では、7月12日(水)から50cc以下の原動機付自転車を対象に、津山工業高等学校デザイン科の生徒がデザインした「津山市オリジナルご当地プレート」の交付を開始します。



- ・現行プレートと2種類のオリジナルご当地プレートの中から一つを選ぶ「選択式」です
 - ・現行プレートと交換する場合、新しい番号に変わります
 - ・交付は無料(1台につき1回限り)
 - ・プレートの番号指定はできません
- ※詳しくは、お問い合わせください

公売 市有地の売り払い 図財政課 ☎32-2122

次の市有財産(旧一宮保育所)の売り払いを行います。

所在地	種別(地目)	地積(公簿)	備考	最低売払価格(予定)
東一宮1226番地	土地	1,232.00㎡	宅地	383,000円
東一宮1227番地	土地	1,584.00㎡	宅地	
同上	建物	769.19㎡	元園舎(昭和53年築)	
同上	建物	17.60㎡	元倉庫(昭和53年築)	
同上	その他工作物	一式	遊具・フェンスほか	

入札 とき 8月8日(火)午前10時～
申込期間 7月18日(火)～31日(月)
入札方法 一般競争入札
現地説明会 とき 7月18日(火)午前10時～11時
 ※建物や工作物などを含めた現状のまま売り払います



まちのイメージづくりに一役買います ~津山市ロゴの紹介~ 図秘書広報室(秘書) ☎32-2026



皆さんは「津山市」と聞いて何を連想しますか。津山城の桜やホルモンうどん、洋学など、人によって、さまざまなものを思い浮かべることでしょう。市では、全国に津山のイメージを浸透させ、知名度を高めるため、平成27年11月に津山市のロゴを制作しました。

津山城を中心とした歴史と文化の象徴として「石垣」をモチーフとし、人々の夢や希望が開花する様子を、淡いピンク色と桜の花びらで表現しました。ハートにも見える桜の花びらは、人々の心を惹き付け、まちの愛らしさや優しさを表しています。

「暮らし、ほんもの。」のキャッチコピーは、長い歴史や豊かな自然など、多くの“ほんもの”を身近に感じながら、充実した暮らしを送ることができる津山のイメージを伝えようとしています。

市では、このロゴへの愛着心を広めるため、ロゴを使用したピンバッジ(25mm×25mm)とクリアホルダー(A4サイズ)を販売中です。ぜひ、お買い求めください。また、このロゴは、申請していただければ印刷物などへの掲載も可能です。まずは、お気軽にお問い合わせください。

ピンバッジとクリアホルダーの販売

場所 市役所地下売店(山北)、津山観光センター(山下)
価格 各1個100円

